

## 中国語教材情報

### 文法問題集

相原茂・石田知子・戸沼市子

『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』（同学社、1996年、2625円）

内容は最初級～中級。初級者に向けて書かれた本ですが、各項目に相当量の問題集が付いており、一通り勉強した中国語の文法を、基礎からもう一度さらい直したいという方にもお薦めできます。

### 文法解説書

呂叔湘《現代漢語八百詞（増訂本）》（商務印書館、1999年増訂版、2600円前後）

八百の単語（主に虚詞）の機能・用法に関して解説を加えたもの。例文付き。解説は基本的にコンパクトにまとめられており、疑問を感じた時にさっと引くことができます。文法を一通り終えた方が、辞書と共に手元に置く書としてお薦めです。ネットの中国書籍専門店（書虫など）で簡単に入手できます。日本語訳もあります（呂叔湘・牛島徳次『中国語文法用例辞典 現代漢語八百詞増訂本』東方出版、2003年、5040円。執筆者未見）。

興水優・島田亜美『中国語わかる文法』（大修館書店、2009年、2900円）

「中国語初級段階学習指導ガイドライン」に準拠して編纂された文法書。索引も備えており、初中級者の文法便覧として用いることが出来ます。章立ては「字と語」「単語と連語」「文の成立と種類」「文の成分」「品詞」の五項目、更に二百を超える細かい節に分かれます。各々の説明はそれほど長くないですが、豊富な例文が附されています。

荒川清秀『一歩すすんだ中国語文法』（大修館書店、2003年、2415円）

動詞を中心とした文法の解説書。日本人著者ならではのニュアンスの違いの解説や、豊富な例文によって、中国語の性質に触れ、その理解を深めることができます。文法が一通り終わった中級者向け。

刘月华他《实用现代汉语语法（増訂本）》（商務印書館、2001年、2800円前後）

中国語を学ぶ外国人のために編まれた文法書。全編中国語（簡体字）です。記述は大きく「現代漢語语法概述」「詞類」「句法 句子成分」「句法 单句」「句法 复句和篇章」に分かれます。大部の本ですが巻末に索引も付いており、文法辞典として用いることができます。少しですが練習問題と解答付き。ネットの中国書籍専門店（書虫など）で簡単に入手できます。日本語訳（相原茂監訳『現代中国語文法総覧』上・下、くろしお出版、1988年。執筆者未見）もありますが、現在入手は困難なようです。

## リスニング

北京大学・北京語言大学・北京語言文化大学の HSK（漢語水平考試）用問題集

次々に新しいものが出版されますので、特に固有の書名を挙げませんが、HSK 関連の問題集は大体以上三つの出版社から出版されています。「初中等」と「高等」に分かれます。

「初中等」と言っても、日本で言う初中級より一段難しいもので、日本で中級を終えた方の力試しに、と言うレベルです。HSK は最近方式が変わったので注意が必要ですが、以前の形式だとリスニングの内容は短い口語・短い口語会話・200~300 文字程度の文章の三つの部分に分かれていました。